

函館工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	古典文学講読
科目基礎情報					
科目番号	0071		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	社会基盤工学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	前期:2	
教科書/教材	三上英司ら編『漢文名文選』(筑摩書房)				
担当教員	鳴海 雅哉				
到達目標					
1.古典文学の概要を理解することができる。 2.古典文学に由来する言葉や文化を理解することができる。 3.古典文学の内容を基に、思考を深めることができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	古典文学の概要を理解し、文化への影響を考えられる。	古典文学の概要を理解することができる。	古典文学の概要を理解することができない。		
評価項目2	古典文学に由来する言葉や文化を理解し、現代への影響を考えられる。	古典文学に由来する言葉や文化を理解することができる。	古典文学に由来する言葉や文化を理解することができない。		
評価項目3	古典文学の内容を基に、思考を深め、現代の我々の生活に生かすことができる。	古典文学の内容を基に、思考を深めることができる。	古典文学の内容を基に、思考を深めることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
函館高専教育目標 D					
教育方法等					
概要	古典文学の読解を通して、我が国の文化や思想、および我が国に影響を与えた中国古典の文化や思想への理解を深めるとともに、古典の文学的文章の鑑賞をとおして、言語文化についての理解を深め、感受性を培う(5-3-1 III-A 国語)。具体的には、故事成語に関する古典作品を読んで、日本や中国の古典文化や歴史等について理解を深めるといった内容である。				
授業の進め方・方法	基本的に講義形式。 本講義は、古典文学を読み進めていくものである。3年次「国語総合Ⅱ」の内容を踏まえ、基本的な訓読を理解し、作品を鑑賞する方法を学びながら、いわゆる「詩心」を体得してもらいたいと考えている。古来、多くの文学者たちが創ってきたさまざまな文学作品には、作者の心の昂ぶりや感情のゆらぎが十分に表現されている。それらを読み、理解することで、読者の心は豊かになっていく。ここでは「漢文」や「漢詩」の読解をとおして、みなさんの「文学の心」を耕そうと思う。積極的な受講を期待する。				
注意点	評価については、定期試験とレポートによって行う。毎回の授業をしっかりと受講し、ノートや資料をまとめておけば、試験やレポートの対応は難しくない。日頃からコツコツとした姿勢でいることを望む。 すでに述べたとおり、本講義は文学作品を読み進めていくスタイルである。できる限り双方向の講義となるようにするが、基本的には授業者の話を聞くことが多くなるだろう。従って、講義中に関係の無い取り組みをしていたり、不要の物を操作していたりした場合は、「意欲無し」と見なし、相応の減点措置となることを覚悟されたい。加えて、そのような姿勢であれば、将来に向けて必ずや失点となるであろうことを指摘しておく。 ※この科目の授業は第2クォーター(前期後半)に2時間連続で実施される。 JABEE教育到達目標評価:課題20%(D-1)、小テスト20%(D-1)、定期試験60%(D-1)				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、漢文基礎、中国史基礎	講義の詳細と、漢文の基礎、中国史の基礎を理解できる。	
		2週	「思想」に関する故事成語①(上善如水・螻蛄之斧)	授業で扱った作品について、内容や情景を理解できる。	
		3週	「思想」に関する故事成語②(五十歩百歩・大器晩成・風林火山)	授業で扱った作品について、内容や情景を理解できる。	
		4週	「歴史」に関する故事成語①(糟糠之妻・刮目相待・傍若無人)	授業で扱った作品について、内容や情景を理解できる。	
		5週	「歴史」に関する故事成語②(鶏口牛後・不入虎穴不得虎子・四面楚歌)	授業で扱った作品について、内容や情景を理解できる。	
		6週	「文学」に関する故事成語①(漱石枕流)、小テスト	授業で扱った作品について、内容や情景を理解できる。これまでの範囲について、内容を確認することができる。	
		7週	「文学」に関する故事成語(画竜点睛・切磋琢磨・捲土重来)	授業で扱った作品について、内容や情景を理解できる。	
		8週	前期期末試験	これまでの範囲について、内容を確認することができる。	
	2ndQ	9週	答案返却、解説	これまでの範囲について、内容を確認することができる。	
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100
基礎的能力	50	10	20	0	0	0	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	10	0	0	0	0	20